

水ぬれ資料を救おう

～被災資料の救出と日頃の備え～

参加無料
事前申込

今年、北海道では、7月の豪雨、9月の台風 21 号、そして北海道胆振東部地震と大きな災害が目立ちます。

被災直後は、人命と健康が重視され、生活と生業の再建が急がれるのは当然です。

しかし、長い目で見れば、個人や家、企業、団体、地域の、歴史や思いが詰まった資料を救出することも、生活の再建や地域の再生、そして人々の心の安寧のために必要なことでしょう。

資料が被災してしまった時に何ができるか、そのために日頃からどのように備えればよいかなどについて、一緒に学び、体験しましょう。

- 日時 平成 30 年 11 月 12 日 (月) 13:00～15:40
■ 午前中 (11:20～11:50) に、希望者のみ 閲覧室・書庫見学
- 会場 北海道庁赤れんが庁舎 2 階 2 号会議室 (札幌市中央区北 3 条西 6 丁目)
- 内容 講義及びワークショップ 「水損資料を救う」 (150 分)
講師 松下正和氏 (神戸大学地域連携推進室特命准教授)



専門は日本古代史。
阪神・淡路大震災を経験して以降、「歴史資料ネットワーク」で、長年、被災資料の救出活動に携わる。
著書に『水損史料を救う』(河野未央氏と共編 岩田書院 2009) ほか。

ワークショップの内容

水損資料の吸水乾燥方法、仮綴じ、汚損写真の洗浄等を予定しています。

- 募集 歴史資料の保存・活用に関心のある方 50 名 ※参加無料

申込方法

電子メール、ファックスまたは郵便に、①氏名、②住所 (又は所属機関名)、③職業 (又は職名)、④連絡先、⑤見学希望の有無を明記し、下記宛てお申し込みください。

北海道立文書館 〒060-8588 札幌市中央区北 3 条西 6 丁目

電子メール: somu.monjyo^{イチ}1@pref.hokkaido.^{エル}lg.jp FAX. 011-232-1851

Tel. 011-204-5200 (ダイヤルイン)

ホームページもご覧ください。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/mnj/gyouji/gyoujiinfo.htm#kensyukai>